

第 1 号議案

2022 年度事業計画 案

自：2022 年 4 月 1 日

至：2023 年 3 月 31 日

1. 研究助成事業

保健・医療の受け手の観点から、国内において最適な保健医療・福祉のシステムに資するヘルスリサーチ領域の共同研究に対し助成研究を公募する。今期で第 31 回目となる。本年度は、応募書類送付手続きをオンライン化する。

助成対象期間： 原則として 1 年間

(2022 年 12 月 1 日～2023 年 11 月 30 日)

公募告知： 財団ホームページ、大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)、医療経済研究機構レターに公募記事を掲載するとともに、大学、研究機関、学会、都道府県医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、都道府県・政令指定都市保健所長会等に公募告知リーフレットを配布する。

助成規模： 5,620 万円

1) 国際共同研究助成

助成金額： 1 件 300 万円以内

助成件数： 8 件程度 (計 2,400 万円)

2) 国内共同研究助成 (年齢制限なし)

助成金額： 1 件 130 万円以内

助成件数： 14 件程度 (計 1,820 万円)

3) 国内共同研究 (2022 年 4 月 1 日現在、満 39 歳以下)

助成金額： 1 件 100 万円以内

助成件数： 14 件程度 (計 1,400 万円)

【参考】 2021 年度実績 <応募状況並びに採択結果>

() : 2020 年度、金額 : 万円

	応募件数	採択件数	助成金額
国際共同研究	21 (16)	8 (7)	1,573 (2,015)
国内共同研究 (年齢制限なし)	59 (39)	15 (14)	1,659 (1,700)
国内共同研究 (満 39 歳以下)	24 (20)	7 (6)	534 (585)
合計	104 (75)	30 (27)	3,766 (4,300)

2. 第 29 回ヘルスリサーチフォーラム・研究助成金贈呈式実施及び講演録発行事業

『第 29 回ヘルスリサーチフォーラム』は、財団設立 30 周年事業とのコラボレーション開催として実施する。

1) スケジュール (案)

<開催日> 2022 年 12 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日) または
2022 年 12 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日)

<開催方式> ハイブリッド型 (会場+オンライン)

<会 場> 紀尾井カンファレンス (千代田区紀尾井町) (予定)

<後 援> 厚生労働省 (予定)

<協 賛> 一般財団法人医療経済研究機構 (予定)

2) プログラム (案)

① 基調講演、対談、パネルディスカッション等。

② 2022 年度ヘルスリサーチ研究助成受賞者贈呈式

③ 2020 年度及び 2019 年度助成案件成果報告、一般公募演題

* 一般演題発表者 公募期間: 4 月 1 日 (金) ~ 6 月 30 日 (木)

3) 基本テーマ (案) 『ヘルスリサーチ 30 周年 - 副題 (検討中) 』

4) 参加予定者 助成受賞者、成果発表者、全国のヘルスリサーチ研究者、ヘルスリサーチに関心のある一般参加者他、役員をはじめとする財団関係者 120 名 (予定)

5) 講演録 A4 版 200 頁 750 部

3. 財団 30 周年記念事業

1) 記念イベントの開催

上述の『第 29 回ヘルスリサーチフォーラム』と同日に、記念イベントを開催する。「ヘルスリサーチ 30 年 - (副題)」とし、今後、益々重要性が高まるヘルスリサーチについて社会的な認知度拡大を図る。形式については、今後検討する。

2) 30 周年誌の刊行

コンテンツ案

- ・「ヘルスリサーチ」をテーマとした寄稿集
- ・「ヘルスリサーチ」をテーマとした座談会
- ・ 3) の分析データ (一部)
- ・ 助成データ、年表、事業活動の暦年データ、など。

3) 財団活動の実績と課題の把握

過去 30 年間の研究助成データの整備及びヘルスリサーチ研究者を対象としたアンケート調査等を行い、これまでの財団活動の実績を可視化し、現状分析を行う。結果 (一部) は 30 周年誌のコンテンツとしてレポートを作成する。

また、これらの分析データは、今後の財団活動の方向性を検討するために活用する。

4. ヘルスリサーチワークショップについて

ヘルスリサーチを志向する研究者の育成支援事業という財団公益事業目的に立ち返り、当事業のあり方（参加機会が開かれているか、開催方法は適当か等々）について所要の検討を加え、新たな活動を企画する。

5. 財団機関誌（ヘルスリサーチニュース）発行事業

タイムリーな情報発信を目指し、従来の紙媒体での発行事業を見直し、ホームページを活用していくとともに、編集体制の改編を行い、紙媒体の利点も活かしたコンテンツを企画し、情報発信力を高める。

- ・研究助成公募告知（4月）
- ・事業活動報告（6月）
- ・ヘルスリサーチフォーラム告知（9月）
- ・30周年イベント報告（1月）
- ・新コンテンツ（提言、研究者紹介など）。

以上